

園芸基礎コンペ

岐阜県立大垣工業高等学校 建設工学科 吉川瑠奈

1 はじめに

私は、3年間で学んだ建設工学科の知識・技術を活かし、造園についても学びながら造園計画を行いました。

2 概要

1) 趣旨

美しい国土と安心・安全で快適な生活環境を実現する多様な造園空間を対象に、デザイン、設計技術、表現手法の向上を図り、次世代を担う青年の造園に対する興味を醸成し入職促進に寄与する。

2) 応募要領

全体平面図 縮尺 1/200 着色すること。

設計説明 設計主旨、計画の説明を明確にする。

公園及びその周辺の状況、街区公園の設計指針、課題図に設定された条件に従い街区公園を計画すること。

3 設計作品

(作品名)

和と触れ合う日本公園

(コンセプト)

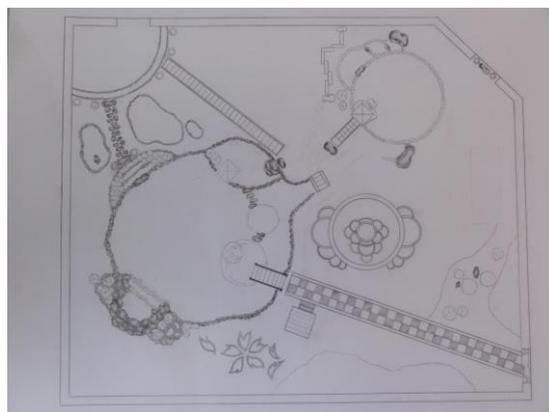
この公園のコンセプトは、『“和”基調とした、三世代で過ごす公園』です。

最近、公園を利用する高齢者も増え、遊びの場としても、癒しの場としても利用されています。また、健康増進のためのウォーキングやランニングなどにも利用され、幅広いニーズが必要とされています。

日本庭園のイメージをベースに、枯山水や滝、灯籠などを設け、庭全体には日本の四季を代表する木花を植栽しました。子供たちが遊ぶ遊具は、

“和”をイメージさせる赤と黒のツートンカラーを基調としたカラーリング、砂場は枯山水を砂敷きにすることでそのまま利用しました。その他にも、夏の涼をとるための金魚の噴水を中心とした水場、散歩やウォーキングが楽しめるコースなどを設けました。

この公園が第2の家族団らんの場所になればよいと思います。



4 まとめ

私は今回の造園設計をとうして多くの世代の方々に楽しんで利用してもらえる設計の難しさを実感しました。コンペまでまだ時間があるので賞を取れるような作品を作っていきたいと思います。